

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋株		
工期	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	鈴木 悠平		
作業名称	防護柵、フェンス設置	作業手順書	作成年月日	令和3年6月25日		
使用機械 使用設備 (具体的な名称・ クラスを記す)	3tトラック、ユニック		改正年月日			
使用工具、機器 材料等(具体的な 寸法を記す)	眼鏡レンチ、スパナ、インパクトドライバー、ラチェット、帯ロープ、脚立、大ハンマー、		現場責任者	会社名 -		
	枕木、ワイヤー		協力会社責任者	自車サイン -		
保護具	ヘルメット、手袋、保護メガネ		作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証 振動工具				1	現地確認
					2	準備作業
作業人員 (当作業に関わる役 割と人員を全て記 す)	作業責任者 1人、作業員 4人、保安員 3人				3	フェンス設置
	合計 8名				4	防護柵設置
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			5	後片付け
	(役割を確認してこの作業に関わる 全員が自車サインする)				6	
					7	
			8			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可 能 性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対する指示
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×○	×△	△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
リスクレベル	5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知					

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し (予想されるミス・ロス)	可 能 性	重 大 性	評 価 点	リ ス ク レ ベル	ミ ス ・ ロ ス	リスクの除去・低減のための 実施すべき事項の特定 (防止対策)
現地確認(全員)	主なステップ	作業のポイント							
	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
	周辺安全確認	構造物の確認							
準備作業(全員)	ミーティング	健康状態の確認 免許・資格等の確認							
	車両の点検・準備	車両の始業前点検、 工具の確認							
		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用ブレードの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。 工事車両荷がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。 担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。 車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。							
フェンス設置 (責任者、作業員)	設置するフェンスの両端の 支柱付近に脚立を設置する。	足場注意	脚立が転倒し、けがをえる	△	×	△○	4		脚立の足元でしっかりと支える。
	フェンス設置箇所に付近に ユニックを据え付け、アウト リガーを張り出す。	設置位置確認	アウトリガーが十分に張り出しておらず、ユ ニックが転倒する。	△	×	△×	4		足場を安定した場所にアウトリガーをしっかりと張り出す。
	荷台の防護柵支柱に玉替 えを行いユニックのクレー にて降ろす。	玉掛け注意	吊り上げた際に防護柵が傾き、人に接触す る。	△	△	△△	3		地切りを行い重心を確認してから、荷台に乗せる。
	荷台のフェンスに帯ロープ 掛け設置する箇所に持つ てくる。	玉掛け注意	吊り上げた際にフェンス傾き、人に接触す る。	△	△	△△	3		地切りを行い重心を確認してから、荷台に乗せる。
		合図者	操縦者が合図者の指示に従わず、人や物 に接触する。	△	×	△×	4		合図者、操縦者を定め、吊り荷の下に入らない
	インパクトドライバー等を使 用し、フェンスをボルト固定 をする。	手元注意	フェンスと支柱の隙間で手を挟む	△	△	△△	3		手袋を着用し作業する。
防護柵 (責任者、作業員)	防護柵設置箇所に付近に ユニックを据え付け、アウト リガーを張り出す。	設置位置確認	アウトリガーが十分に張り出しておらず、ユ ニックが転倒する。	△	×	△×	4		足場を安定した場所にアウトリガーをしっかりと張り出す。
	荷台の防護柵支柱に玉替 えを行いユニックのクレー にて降ろす。	玉掛け注意	吊り上げた際に防護柵が傾き、人に接触す る。	△	△	△△	3		地切りを行い重心を確認してから、荷台に乗せる。
		合図者	操縦者が合図者の指示に従わず、人や物 に接触する。	△	×	△×	4		合図者、操縦者を定め、吊り荷の下に入らない
	防護柵設置箇所に仮組し アンカー設置箇所に墨だし する。	設置位置確認	設置箇所がずれる。						仮組を行い、設置できるか確認する。
	ハンマードリルを使用しア ンカー設置位置を削孔す る。	手元注意	ハンマードリルで手をケガする	△	△	△△	3		手袋を着用し作業する。
	アンカーを打ち込み、支柱 を固定する。	手元、足元注意	防護柵で隙間で手や足を挟む	△	△	△△	3		手袋、安全靴を着用し作業する。
後片付け (責任者、作業員)	清掃	破片、工具等が残っている							工事車両を取外した場合は専用のケースに 確実に格納し車内に保管する事